

各位

兵庫県建築士事務所協会

会長 柏本保

広報渉外部長 鈴木祐一

シンポジウム「建築家 根津耕一郎の仕事」のお知らせ

平素は、当協会の運営にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

この度、当協会主催で、関西を代表する建築家である根津耕一郎さんをお招きして、下記の通りシンポジウムを開催することとなりました。

神戸で建築を学び、日本各地で活躍された建築家の根津さんの存在を再検証し、彼の建築と思考を振り返ることで、私達が生きる社会と建築や建築家の関係を再考する場になればと思っています。会員の皆さまにも、ぜひご参加いただければと思いますので、お時間ございます方はご参加くださいますと幸いです。

日時：2019年11月16日（土）13：30～16：30

会場：神戸市立こうべまちづくり会館（中央区元町通4-2-14）

入場料：1,000円（当日受付にてお支払いください）

※ゲストの詳細やシンポジウムの内容については、チラシをご参照ください

当会ホームページでも確認できます <http://www.hyogo-aaf.org/media/2019sympo.pdf>

参 加 ・ 欠 席

※○をつけて下記送付先までお送りください

氏名

連絡先

※複数名の場合はその旨余白に記入し、代表者の名前をご記入ください

※送付先 → メール info@hyogo-aaf.org、FAX 078-371-7913

シンポジウム

建築家・根津耕一郎の仕事

日時 2019年11月16日(土)13時30分～16時30分
会場 神戸市立こうべまちづくり会館

主催：(一社)兵庫県建築士事務所協会 TEL078-351-6779
定員80名 要参加登録 入場料1000円 学生500円





建築家・根津耕一郎

- 1933 神戸市生まれ
- 1956 神戸大学工学部建築学科卒
- 1962 (株)根津建築事務所を設立
- 1970 日本建築学会賞特別賞受賞 (日本万国博覧会協会本部ビル)
- 1976 (株)建築計画研究所設立

根津耕一郎は1960年代から70年代を中心に、公共建築から商業施設や住宅まで、種類も規模もデザインも実に多様な建物を、関西を拠点として数多く設計した建築家である。

根津は1933年に神戸市に生まれた。1956年に神戸大学工学部建築学科を卒業して日建設計に入社し、名古屋支社に勤務した。その後、東畑建築事務所に移り、1962年に独立して根津建築事務所を大阪に開設した。

その直後から次々と大きな仕事を手にし、実現する。川沿いの崖地に建つ巨大なホテル奥道後(1967年)、コンクリート打ち放しのダイナミックな造形が印象的な西脇市民会館(1966年)、西脇市庁舎(1968年)、日本万国博覧会協会本部ビル(1968年)、繊細なカーテンウォールの大阪弁護士ビル(1970年)、特徴的なデザインで街の風景を変えたドライブイン・レストラン・ロマン(1968年)、グランド六甲ボウリングセンター(1971年)などである。

いずれも根津が30歳代の作品であるが、そのことがにわかには信じられないほどの完成度だ。さらに、大阪万博エキスポランド(1970年)などの遊園地の設計やランドスケープデザインにも手を広げており、文字通り早熟の才人といつてよい。

こうした根津の活躍ぶりは、『建築評論』第8号(1973年)で黒川紀章と対談したり、1973年に『根津耕一郎作品集 1957-1973』を出版したことに象徴される。まさに時代と共に生きた骨太の建築家といえることができるだろう。

しかし、このような根津の仕事は、さらにいえば根津耕一郎という建築家の存在は、現代建築の流れの中で正確に位置づけられているとは思えない。今回のシンポジウムは、彼の設計した建築と思考の軌跡を振り返ることにより、彼の生きた高度成長期、およびこれからの時代の社会と建築や建築家との関係について再考しようとするものである。

シンポジウム	第一部 作品を語る 笠原一人による経歴および作品紹介 根津耕一郎、花田佳明、笠原一人による作品解説
	第二部 これからの設計事務所の経営環境を語る 第一部登壇者に加え、主催者代表 柏本保(兵庫県建築士事務所協会 会長)を交えて設計事務所の将来像を考える

花田佳明(神戸芸術工科大学教授)
1956年愛媛県生まれ。1982年東京大学大学院修士課程修了。日建設計を経て1997年から神戸芸術工科大学へ。博士(工学)。著書に『建築家・松村正恒ともうひとつのモダニズム』、『植田実の編集現場』。共著に『日土小学校の保存と再生』、『リノベーションの教科書』ほか。

笠原一人(京都工芸繊維大学助教)
1970年神戸市生まれ。1998年京都工芸繊維大学大学院博士課程修了。近代建築史、建築保存再生論専攻。共編著に『建築と都市の保存再生デザイン』、『建築家 浦辺鎮太郎の仕事』ほか。共著に『関西のモダニズム建築』、『村野藤吾の住宅デザイン』ほか。

シンポジウム 建築家・根津耕一郎の仕事

日時 2019年11月16日(土) 13:30~16:30
会場 神戸市立こうべまちづくり会館
兵庫県神戸市中央区元町通4-2-14 TEL: 078-361-4523
主催 (一社)兵庫県建築士事務所協会
定員80名 要参加申込 MAIL: info@hyogo-aaf.org/TEL:078-351-6779 事務局 幸村まで
入場料1000円/学生500円(会場受付にて) 詳しくは主催者ホームページへ

- 代表作品
- 1962 西脇市民会館(兵庫県)
 - 1966 西脇市役所(兵庫県)
 - 1967 日本万国博覧会本部ビル(大阪府)
ホテル奥道後(愛媛県)
 - 1968 ドライブイン・レストラン・ロマン(京都府/現存せず)
 - 1970 万国博エキスポランド(大阪府/現存せず)
大阪弁護士ビル(大阪府)
 - 1971 グランド六甲ボウリングセンター(兵庫県/現存せず)
 - 1972 Expoランドタイタラレストハウス(大阪府/現存せず)
 - 1973 沖縄海洋博エキスポランド(沖縄県/現存せず)
プレジデント椿(三重県)
 - 1982 新神戸ビル(兵庫県)
 - 1983 ソウルランド基本計画(大韓民国)
 - 1985 姫路セントラルパーク(兵庫県)
 - 1987 小海リゾート「RE-EX」(長野県)
 - 1991 西神南ニュータウン(兵庫県)
 - 1995 M邸(京都府)
 - 1996 日栄大阪ビルディング(大阪府)
 - 1997 バインフィールド吉祥院マンション(京都府)



撮影 Hanichi Noda Takeo Murase 笠原一人

